東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

２０２４年度　後学期入学

東京都市大学 大学院環境情報学研究科

環境情報学専攻	▶ 博士後期課程 ▶ 博士前期課程	横浜キャンパス
東京都市大学・エディスコーワン大学 国際連携環境融合科学専攻	▶ 博士前期課程	横浜キャンパス
都市生活学専攻	▶ 博士後期課程 ▶ 博士前期課程	世田谷キャンパス

募 集 要 項

選　抜　日　程	２月実施入試	５月実施入試
願書受付期間 （必着）	２０２４年 １月１２日（金）～１月１８日（木）（必着）	２０２４年 ５月２日（木）～５月６日（月）（必着）
選考（試験）	２月１４日（水）	５月１５日（水）
合　格　発　表	３月１日（金）１０：００	５月２０日（月）１０：００
入学手続き期限	３月２９日（金）消印有効	６月７日（金）消印有効
入学日	２０２４年９月２１日（土）	

※東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻は２月実施入試はありません。
※一部の出願資格については入学資格審査を行います。詳細（審査を受ける必要があるかないか等）については、P.29 を参照してください。
※「JICA 2024 年秋受入長期研修プログラム」による志願者については、合格発表及び手続期限を JICA 経由で別途指示します。
※国外在住の留学生はオンラインでの受験を認めます。
※大学構内での試験が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の２点が可能な環境を整えておいてください。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・筆記試験、面接試験に支障のない静かな環境

人材の養成および教育研究上の目的	環境，情報，都市生活に関わる高度な教育と社会的要請に応える研究の実践を通して，複雑化する世界や地域の中から課題を的確に発見し解決するために，自然，数理及び社会科学的な分析力と洞察力を養い，多様な利害関係者と連携しつつ多角的に探究し，新たな価値と豊かな社会を創造することができる人材の養成を目的とする。

東京都市大学大学院環境情報学研究科での学び

総人口 80 億，世界 GDP97 兆ドル，世界のインターネット利用率 63%，年間一次エネルギー消費量 37 億トン（石油換算），年間二酸化炭素排出量 335 億トン，都市生活人口 45 億人…

私たちの生活環境は膨張し続けています。このような膨張は一方で，環境，社会，情報，政治，文化，様々な側面で大きな歪みという形で表れています。100 年間で気温は約 1℃上昇し，36 億人が水不足の状態を経験し，いまだ 18 億人がトイレの無い生活を余儀なくされています。2030 年までに都市人口は全人口の 6 割を超えます。日本のサイバー攻撃は年間 5001 億件，世界の難民は 8,930 万人を超え，格差や貧困は拡大し，国家間の紛争やテロ，移民者数の増大など，社会問題は一層深刻化しています。しかし，未だ人類はこれらを根本的に解決する方法を見出していません。

2015 年，国連が中心となって持続可能な開発目標が定められました。ここには，気候変動，水，生態系，都市やインフラストラクチャなど様々な項目に対して，世界の目標が掲げられています。広範で多岐に渡る地球規模の課題を解決していくには，人工知能，IoT，ビッグデータといった最先端の情報処理技術を駆使しつつ，バイオマスや再生エネルギー，炭素回収利用などのエコイノベーションを飛躍的に進め，スマートシティやエコタウンを早期に具現化していくことが求められます。これらの推進には国や自治体，企業，NPO や NGO，消費者団体といったあらゆる活動主体が取り組むことが求められますが，これらの組織を牽引する人材が決定的に不足しています。

大学院環境情報学研究科では，21 世紀の新しい研究領域である「環境」と「情報」と「都市」に関する基礎研究や応用研究を深めると同時に，その成果を社会へ実装していくことで持続可能社会の実現に貢献していくことを使命としています。俯瞰的な視点から物事を捉え，問題の本質を見抜く洞察力，専門知識や技能に裏付けられた研究の実践力，そして得られた成果を対外的に伝達する発信力を修得されることを重視した教育課程を設置しています。環境・情報・都市の各分野で活躍する 57 名の教員とのマンツーマンに近い密度の濃い研究指導，企業や自治体との連携によるインターンシップや研究プロジェクトの実施，定期的に行われる中間発表・英語発表・ポスター発表，国際会議での研究発表，国内外のジャーナルでの査読論文の発表，日本人学生と留学生の交流などは，本研究科で学ぶ学生にとって貴重な経験と将来の財産になることでしょう。

環境情報学研究科の修了生は，世界の環境・社会問題を解決するためのエキスパートとして，研究機関，コンサルティング，情報産業，自治体など様々な場面で活躍しており，本研究科の教育課程の質の高さは修了生の活躍から実証されています。本研究科の教育課程を通じて，専門性を深めつつ（縦糸），多岐に渡る領域を横断的に理解（横糸）し，縦糸と横糸の均整の取れた総合力を向上させることで，持続可能社会の実現に寄与する人材へと成長されることを期待します。

大学院共通ポリシー

アドミッションポリシー

東京都市大学大学院は、持続可能な社会発展をもたらすための人材育成を目的とし、その目的を達成するための学術研究の専門分野に対応して研究科を設置しています。各研究科では、それぞれ定めた「人材養成及び教育研究上の目的」に基づき、以下のような能力・意欲・目標を持つ人を求めます。

【博士前期課程】

現代社会では、経済・社会・環境の3 つの要素を考慮し、持続可能な社会開発が求められています。そのためには、確かな専門能力に基づき横断的かつ複合的に社会の諸問題を解決できる人材が必要です。そこで、入学を希望する学生には以下の項目に対して共有できることを求めます。

1．　本学の掲げる「教育理念」と「教育目的」への共感
2．　多面的かつ複合的な視点とそれに基づく論理的思考
3．　未知な問題に対する強い関心とその解決に対するチャレンジ精神
4．　専門的な能力を有するものとして必要なコミュニケーション力
5．　人間として持つべき倫理観

【博士後期課程】

現代社会では、経済・社会・環境の3 つの要素を考慮し、持続可能な社会開発が求められています。その開発のためには諸課題の解決を図る高度な研究能力が必要であり、さらには、新しい課題そして新しい領域を開拓する能力を身に付けることが求められています。このため、以下の項目に対して共有できる学生を求めます。

1．　現代社会の抱える諸問題を認識し社会の発展に貢献する意欲
2．　未解決課題に対応するために自らの能力を開発する力
3．　地球的視野から様々な関係者と連携しつつ諸問題の解決に取り組む能力
4．　指導的な役割を果たすために必要な実行力
5．　研究活動に求められる適切な倫理観

カリキュラムポリシー

東京都市大学大学院は、修了認定・学位授与に関する方針を達成するために、以下のように教育課程を編成・実施します。

【博士前期課程】

1．研究能力の養成に資する専門基礎科目群を編成するとともに、分野ごとの高度な専門知識の修得に資する専門科目群を編成する。
2．　幅広い教養を持ち、国際社会で活躍できる人材を育成するため、共通科目群を編成する。
3．　専門分野に関する特定の課題を深く追求し、高度な研究能力を修得するため、特別研究を設置する。

【博士後期課程】

1．　高度な学術研究を遂行する研究者として備えるべき見識と素養を身に付けるため、学際的な教養、先端的な研究方法、研究成果を体系化する能力などを獲得し、併せて研究倫理を徹底するとともに、教育者としての役割および社会における学識経験者の役割を適切に果たすための素養を培うため、「講究」を設置する。
2．　専門分野に関わる特定の研究主題を設定し、これを深く追求して学位論文に取りまとめるため、「特殊研究」を設置する。

ディプロマポリシー

東京都市大学大学院は、本学の教育理念に基づき、所定の単位を取得し、以下の知識・能力等を修得した学生に対して修了を認定し、博士前期課程においては修士の学位を、博士後期課程においては博士の学位を授与します。

【博士前期課程】

1．　自らの専門に関する特定の問題に対して、課題の設定を適切に行い、解決方法を構想し、高度な専門知識を駆使して問題解決に取り組む実践的な研究能力を身に付けている。
2．　国際社会において、修得した専門知識と自らの研究成果を活かして活躍できる実践的なコミュニケーション能力を身に付けている。
3．　研究活動に求められる適切な倫理観と行動特性を有している。

【博士後期課程】

1．　自らの専門に関する高度な研究を遂行でき、研究成果を体系的にまとめる能力を身に付けている。
2．　国際社会や他機関との連携を通じて、社会ニーズを意識しながら学術研究成果を導き、新しい価値創造に貢献できる能力を身に付けている。
3．　適切な研究倫理面での配慮のもとで研究を遂行できる能力を身に付けている。

環境情報学研究科

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

□博士前期課程

現代社会では、社会・経済の変化と先端技術の普及に伴い、個人や家族などの小さいスケールから、企業や地域社会、都市や国家や地球全体等の大きなスケールまで、様々な課題が複雑に絡み合う形で、分野横断的に表れてきています。そこで、持続可能な社会の存続に向けて、従来の専門分野にとらわれずに、横断的かつ総合的に問題の解決をはかることが求められています。

【人材の養成及び教育研究上の目的】

環境情報学研究科　博士前期（修士）課程では、環境、情報、都市生活に関わる諸問題に具体的な問題意識を持ち、生活する人々の立場にたって課題の解決に取り組める人材の養成を目指しています。このため、以下の項目を私達と共有できる学生の入学を求めます。

【求める人物像】

1. 本研究科の掲げる教育理念および目標への共感
2. 現代社会に対する問題意識
3. 国際的、未来的、学際的な視点
4. 問題の解決に対する実践的取り組みへの意欲
5. 他者とのコミュニケーション力
6. 人間として持つべき倫理

□博士後期課程

近年のテクノロジーの発展は、都市化と高度情報化をもたらす一方、国内外を問わず、また企業活動・社会活動など幅広い分野を横断する形で、人間環境に関わる諸問題を多様化させています。環境、情報、都市生活に関わる領域は極めて広範であり、関係する従来の学問領域も多様です。これらの諸問題を解決し、人類社会をより豊かに発展させていくためには、従来の縦割りの学問体系・枠組みを超えて、それらをいわば横糸で通す形で解決策を紡ぎ出す学際的な意識を持った研究が必要です。

【人材の養成及び教育研究上の目的】

環境情報学研究科博士後期課程では、環境、情報、都市生活に関わる諸問題に対する深い洞察力と、新たな研究領域の開拓に取り組む意欲を持ち、学際的な広い視野に立って、高度な研究能力と学識を教授する能力を身につけた人材の養成を目指しています。

【求める人物像】

環境情報学研究科博士後期課程では、このような現代社会の抱える諸問題に対し明確な意識を持ち、持続可能な社会を維持するために必要な環境、情報、都市生活に関わる諸問題の解決に取り組み、新たな学問領域の開拓に意欲を持つ学生を求めます。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

□博士前期課程

［必修科目］

環境、情報、都市生活に関する諸問題の解決に必要となる科学的思考、調査・分析・評価能力を涵養するため、学生は研鑽を積みたいと考える領域のいずれかの教員の研究室に所属し、その教員からの直接指導のもとで「文献研究・演習」、「特別研究」を履修する。

［領域ごとの授業科目］

環境、情報、都市生活に関する特定領域について、分野横断的な幅広い知識と分野ごとの深い知識の両方を身に付けた人材を育成するため、「専門基礎科目」および領域ごとの「専門科目」を設置するとともに、複数領域の単位修得を可能とする。

［英語などの共通科目］

国際社会で実践的に活躍できる人材を育成するため、英語によるプレゼンテーション能力を養うための英語科目を共通科目として設置するほか、１年次開催の英語での研究発表（２回）を修了要件とする。

□博士後期課程

［講究］

学生それぞれが、学位論文を取りまとめて行くプロセスのなかで、環境、情報、都市生活に係わる先端的知識を、担当教員からの指導を通して獲得する。また、学生が修了後に教育者または学識経験者としての社会的役割を果たすことを想定し、学識を教授するために必要な能力を培う機会を設ける。

［特殊研究］

学生が研鑽を積みたいと考える領域のいずれかの教員の研究室に所属し、論文執筆の指導を受けながら研究を構想する。その後、特定の研究テーマを設定し、そのテーマに関わる主たる担当教員から指導を受けて研究を遂行し、学位論文を取りまとめる。また、このプロセスにおいて、学期ごとに研究科における発表の機会を設け、研究科在籍の全教員からの助言を受ける機会を確保する。

ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

□博士前期課程

［専門知識・応用力］
環境、情報、都市生活に関する特定の問題について深く考察し、実践的な問題解決に資する専門知識や能力を身につけた者
［分析力・構想力］
現代社会が直面する環境、情報、都市生活に関する諸問題に対する科学的思考、調査・分析・評価を通して解決方法を構想できる能力を身につけた者
［英語力］
国際社会に貢献できる素質を持ち、責任感を持って、環境、情報、都市生活の諸問題における研究と実務を発展させる可能性があると認められる者
［研究倫理］
適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と研究を発展させる可能性があると認められる者

□博士後期課程

［高度な研究能力］
環境、情報、都市生活に関する高度な研究を遂行するとともに、研究の成果を体系的にまとめあげることで、実践的な問題解決に資する専門知識と知の発展に貢献する能力を身につけた者
［学際的な広い視座］
環境、情報、都市生活に関連する多様な事象および学術研究成果を俯瞰し、それらを専門知識と結びつけて、新たな価値創造に貢献できる能力を身につけた者
［研究倫理］
適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と高度な研究を発展させる可能性があると認められる者

環境情報学専攻

アドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）

□博士前期課程

［求める人物像］
本専攻では、環境マネジメント、 コミュニケーション環境、 情報システム、 地域・都市環境のいずれかの領域に関心を持ち、次の能力を有する学生の入学を希望します。

1. 選択する領域での研究に必要となる学部卒業レベルの基礎学力を有していること。（ただし環境及び情報に関する科目を履修していることは必要条件ではありません）。
2. 講義を受講し、グローバルに研究を展開するうえで必要な語学力。
3. 環境あるいは情報に関し、解決すべき課題に対して具体的な問題意識を持っており、それを他者に平易に説明できること。

このような人材を求めるために、「一般選抜（日本語）」「一般選抜（英語）」（英語による指導法を出願前に相談の上、審査書類を作成）では筆記試験と面接からなる入学試験を実施します。また、社会、および、海外から広く人材を受け入れるために筆記試験を免除した「社会人選抜」（2 年以上の実務経験が必要）を設けています。

□博士後期課程

［求める人物像］
本専攻では、環境あるいは情報のいずれかの領域に関心を持ち、次の能力を有する学生の入学を希望します。
1. 選択する領域での研究に必要となる博士前期課程修了レベルの専門知識や能力を有していること。
2. 講義を受講し、グローバルに研究を展開するうえで必要な語学力。
3. 環境あるいは情報に関し、解決すべき課題に対して具体的な問題意識を持っており、それを他者に平易に説明できること。

このような人材を求めるために、「一般選抜（日本語）」「一般選抜（英語）」（英語による指導法を出願前に相談の上、審査書類を作成）では筆記試験と面接からなる入学試験を実施します。また、社会、および、海外から広く人材を受け入れるために筆記試験を免除した「社会人選抜」（2 年以上の実務経験が必要）を設けています。

環境情報学専攻

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

□博士前期課程

［必修科目］

環境あるいは情報に関する諸問題の解決に必要となる科学的思考、調査・分析・評価能力を涵養するため、学生は研鑽を積みたいと考える領域のいずれかの教員の研究室に所属し、その教員からの直接指導のもとで「文献研究・演習」、「特別研究」を履修する。

［領域ごとの授業科目］

環境あるいは情報に関する特定領域について、深い知識と分野横断的な幅広い知識の両方を身につけた人材を育成するため、「専門基礎科目」と領域ごとの「専門科目」を設置するとともに、複数領域の単位修得を可能とする。

［英語などの共通科目］

国際社会で実践的に活躍できる人材を育成するため、英語によるプレゼンテーション能力を養うための英語科目を共通科目として設置するほか、1 年次開催の英語による研究発表（2 回）を修了要件とする。

□博士後期課程

［研究・教育力の高質化］

高度な研究を遂行するために必要な方法論や、環境あるいは情報に関する諸問題の実践的な解決能力を養うとともに、学識を教授するために必要な能力を培うため「環境情報学講究」を設置する。

［新たな知の発展］

環境あるいは情報に係わる特定の研究テーマを設定したうえで、高度な研究方法を駆使して研究を遂行し、その成果を独自性と一貫性のある博士論文にまとめ上げることで、自立した研究者として新しい領域を開拓できる研究能力が身につくように「環境情報学特殊研究」を設置する。

ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

□博士前期課程

［専門知識・応用力］

環境あるいは情報に関する特定の問題について深く考察し、専門知識や能力を身につけた者

［分析力・構想力］

現代社会が直面する環境あるいは情報に関する諸問題に対する科学的思考、調査・分析・評価を通して解決方法を構想できる能力、計画策定能力、政策提言能力を身につけた者

［英語力］

国際社会に貢献できる素質を持ち、責任感を持って、環境あるいは情報における研究と実務を発展させる可能性があると認められる者

［研究倫理］

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と研究を発展させる可能性があると認められる者

□博士後期課程

［高度な研究能力］

環境あるいは情報に関する高度な研究を遂行するとともに、研究の成果を体系的にまとめあげることで、実践的な問題解決に資する専門知識と知の発展に貢献する能力を身につけた者

［学際的な広い視座］

環境あるいは情報に関連する多様な事象および学術研究成果を俯瞰し、それらを環境情報学の専門知識と結びつけて、新たな価値創造に貢献できる能力を身につけた者

［研究倫理］

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と高度な研究を発展される可能性があると認められる者

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

［求める人物像］

1. 本研究科の掲げる教育理念及び目標への共感
2. 現代の国際社会における問題意識
3. 国際的，未来的，学際的な視点
4. 問題の解決に対する実践的取り組みへの意欲
5. 他者とのコミュニケーション力
6. 世界の持続可能な発展に寄与する人材として持つべき倫理

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

［研究科目］

環境，情報，都市生活に関する諸問題の解決に必要となる科学的思考，調査・分析・評価能力を涵養するため，いずれかの教員の研究室に所属し，本学教員の直接指導のもとで「文献研究・演習」，「特別研究」を履修する。

［領域ごとの授業科目］

環境，情報，都市生活に関する特定領域について，分野横断的な幅広い知識と分野ごとの深い知識の両方を身に付けた人材を育成するため，領域ごとに「専門科目」を設置し，複数領域の単位修得を可能とする。

［連携外国大学による専門科目］

国際社会において環境科学領域で実践的に活躍できる人材を育成するため，連携外国大学が提供する環境科学に関する専門科目を履修する。さらに，連携外国大学教員からの直接指導による「Postgraduate Science Project」を履修して，世界で通用する専門力を修得する。

ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

所定の年限在学し，以下の知識と能力とともに所定の単位数を修得し，必要な研究指導を受けた上で修士論文又は特定の課題についての研究成果等の審査及び最終試験に合格した者に，修士（環境学）の学位を与える。

［専門知識・応用力］

環境，情報，都市生活に関する世界の共通課題について深く考察し，持続可能社会の構築に寄与するための専門知識と研究能力を身につけた者

［分析力・構想力］

現代の国際社会が直面する環境，情報，都市生活に関する諸問題に対する科学的思考，調査・分析・評価を通して解決方法を構想し，提案できる能力を身につけた者

［研究倫理］

適切な研究倫理と多様性に配慮しつつ，研究を継続して実施，発展させる熱意と資質があると認められる

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻について

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻

・本専攻は、国際連携教育課程制度に基づく専攻（博士前期課程）です。国際連携教育課程は、ジョイント・ディグリープログラムとも称され、日本と海外の連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で連名して単一の学位を授与するものです。本専攻の海外連携大学は、東京都市大学オーストラリアプログラム（TAP）の派遣先であるエディスコーワン大学です。
本専攻では、すべての授業を英語で行います。また、東京都市大学を主大学とする本専攻の学生は、1 セメスターをオーストラリア連邦 西オーストラリア州のパースで過ごし、エディスコーワン大学が開講する科目を履修します。東京都市大学の開講科目から 15 単位、エディスコーワン大学での開講科目から 15 単位など所要の要件を充たし、修士論文等の研究成果の審査と最終試験に合格することで、東京都市大学とエディスコーワン大学より連名で英文の学位記（学位：Master of Environmental Studies）が授与されます。

・本学とエディスコーワン大学の双方から研究指導を受けることができます。

・本専攻では、入学手続きを行った大学を主大学とします。本学を主大学とする学生は、入学金や授業料を本学に納入し、エディスコーワン大学に別途入学金や授業料を支払う必要はありません。なお、付随的な料金や費用が生じる場合があります。

・入学定員は、本学を主大学とする学生５名、エディスコーワン大学を主大学とする学生５名です。

・入学後は、本学 及び エディスコーワン大学の両方の学籍を有することとなります。

・本学が定める入学資格を満たすことに加え、エディスコーワン大学が定める入学資格を満たす必要があります。その 1 つとして、English Language requirements (Band 4)が定められています。詳細は以下の URL より確認してください。

【 English Language requirements (Band 4) 参照 URL 】
https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands

(English Language requirements (Band 4) の具体例)
・IELTS Academic (IELTS Academic UKVI を含む) のスコア 6.5 以上（各項目 6.0 以上)。
・TOEFL iBT または TOEFL iBT Special Home Edition のスコア 84 以上（各項目 17 以上)。
※IELTS Academic オンラインテストのスコアは対象外。
※入学日から遡って 2 年以内に実施された英語外部検定試験のスコアが有効。

２年間の学修のながれ

本専攻では、本大学院とエディスコーワン大学の双方の学籍を有することとなります。すなわち、修了するためには、双方の修了要件を満たさなければなりません。本大学院では、2 年以上在学し、30 単位（うち本学開講科目 15 単位、エディスコーワン大学開講科目 15 単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、両大学が連携して行う修士論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。これに加え、エディスコーワン大学では指定されたアカデミックトレーニングの合格等を修了要件として求めています。詳細は、入学後にお知らせいたします。

【一般的な履修スケジュール】

都市生活学専攻

アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

□博士前期課程

［人材養成及び教育研究上の目的］

都市に生起する様々な事象の中から課題を発見し、専門的な知識と分析力をもってこれらを深く考察し、「価値ある都市生活」の創造に結び付く実践的な解決方法を構想できる専門能力を身につけた人材を養成することを目的としています。

［求める人物像］

1. 都市に関心を持ち、「価値ある都市生活」の創造に係わる研究や事業を通じて社会に貢献したいと望む人
2. 学部卒業レベルの基礎学力を有し、論理的な思考ができ、新規の発見、有用な創意工夫又は独創的な創作に意欲を有する人
3. 論文の読解とコミュニケーションが可能な英語力を有する人
4. 研究者として適切な倫理観を有する人

□博士後期課程

［人材養成及び教育研究上の目的］

現代社会における都市と都市生活の価値創造を分野横断的に探究する都市生活学において、高度な分析能力、グローバル化と技術革新に対応した幅広い知見、価値創造の方法論を先導する研究開発力を有するとともに、都市生活の新時代を切り開く構想力と高度な専門能を併せ持つ人材能力を担うことのできる人材を育成することを目的としています。

［求める人物像］

1. 都市に深い関心を持ち「価値ある都市生活」の創造に係わる卓越した研究や独創的な事業を通じて社会に貢献したいと望む人
2. 博士前期（修士）課程修了レベルの専門知識と研究能力を有し、学際的な発想を持ち新しい研究領域の開拓に向かう意欲を有する人
3. 国外の研究者との研究交流と論文執筆が可能な英語力を有する人
4. 研究者として適切な倫理観を有する人

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

□博士前期課程

［必修科目］

専門知識を応用し、都市社会が直面する諸問題の解決を図り、又は豊かな都市生活を創造するため、専門分野の「文献研究・演習」「特別研究」を履修する。

［専門知識を高める科目］

都市生活学の専門４分野について、特定分野の深い知識と分野横断的な幅広い知識の両方を身につけた人材を育成するため、「専門基礎科目」と４分野の「専門科目」を設置するとともに、複数分野を履修する

［英語などの共通科目］

国際社会で実践的に活躍できる人材を育成するため、英語によるプレゼンテーション能力を養う科目を設置するほか、一年次開催の英語による研究発表会（2 回）を修了要件とする。

□博士後期課程

［研究・教育力の高質化］

高度な研究に用いられる多様な方法論を習得しつつ、都市社会に生起する事象を多角的・学際的に捉える視座と本質を見抜く洞察力を養うとともに、学識を教授するために必要な能力を培うため「都市生活学講究」を設置する。

［新たな知の発展］

都市と都市生活に関わる特定の研究テーマを設定し、高度な研究方法を駆使して研究を遂行し、その成果を独自性と一貫性のある博士論文にまとめ上げるとともに、自立した研究者として新しい領域を開拓できる研究能力が身につくように「都市生活学特殊研究」を設置する。

ディプロマポリシー（学位授与に関する方針）

□博士前期課程

［専門知識・応用力］

都市生活領域に関する特定の問題を深く考察し、実践的な問題解決に資する専門知識や能力を身につけた者

［分析力・構想力］

現代社会が直面する都市生活領域に関連する諸問題への科学的思考、調査・分析・評価・予測を通じ、国際社会に通じる有用な解決方法を構想し、提案できる能力を身につけた者、又は解決のための構想を有効で独創性のあるプランとしてまとめ、提示できる能力を身につけた者

［英語力］

国際社会に貢献できる素質を持ち、責任感を持って都市生活領域の研究と実務を発展させる可能性があると認められる者

［研究倫理］

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と研究を発展させる可能性があると認められる者

□博士後期課程

［高度な研究能力］

都市生活学に関する高度な研究を遂行するとともに研究の成果を体系的にまとめあげ公表して知の発展に貢献する力を身につけた者

［学際的な広い視座］

都市と都市生活に関連する多様な事象および学術研究成果を俯瞰し、それらを都市生活学の専門知識と結び付けて、新たな価値創造に貢献できる能力を身につけた者

［研究倫理］

適切な研究倫理面での配慮のもとに研究を続ける資質と高度な研究を発展される可能性があると認められる者

設置概要（大学院環境情報学研究科）

大学院環境情報学研究科	博士前期課程		博士後期課程		キャンパス ※
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
■環境情報学専攻	６２名	１２４名	６名	２４名	横浜キャンパス
■東京都市大学・エディスコーワン大学 国際連携環境融合科学専攻	５名	１０名	—	—	
■都市生活学専攻	１８名	３６名	６名	１８名	世田谷キャンパス

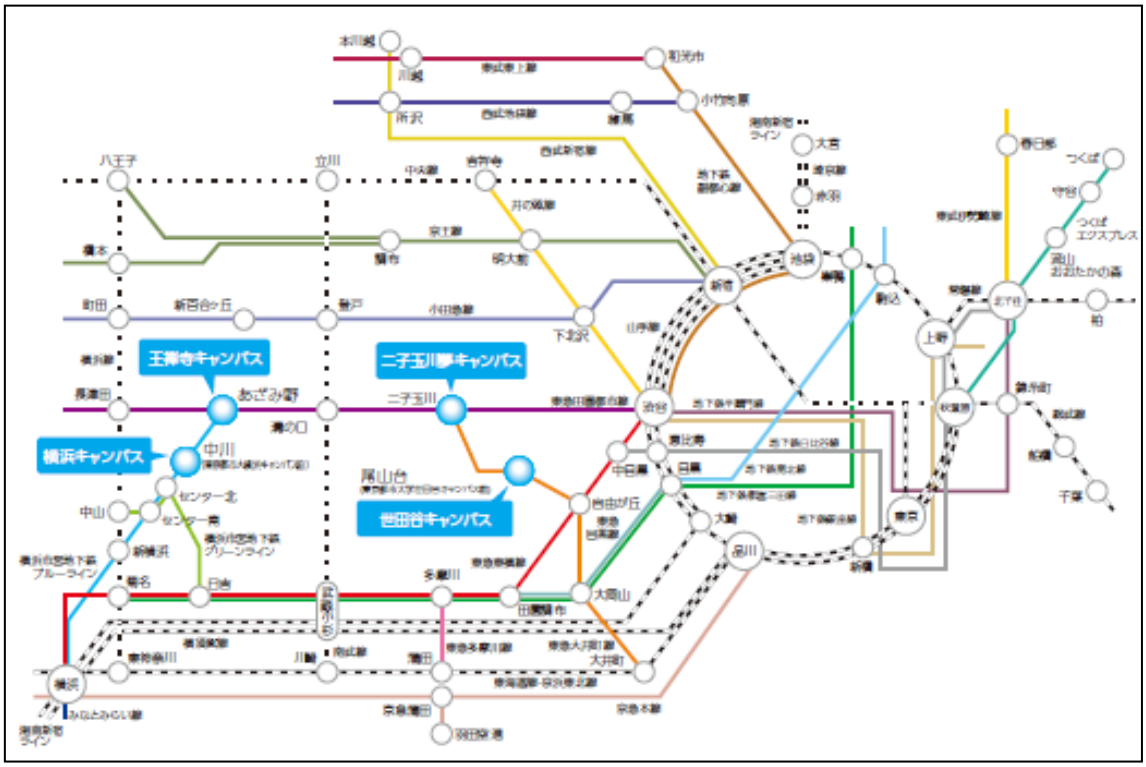
※所属する専攻によって、キャンパスが異なります。

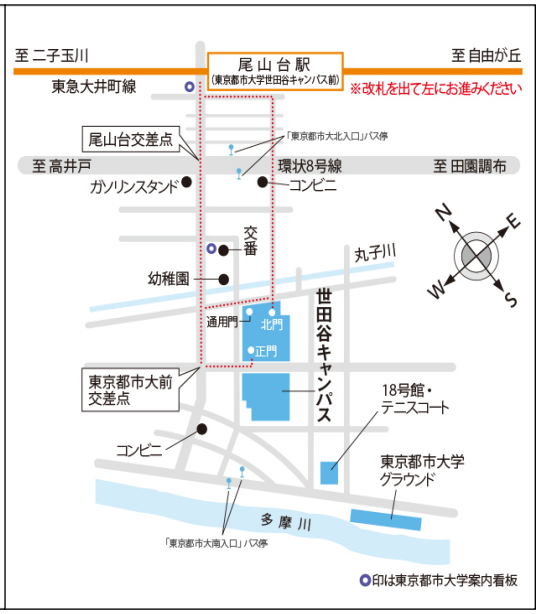
■横浜キャンパス

〒224-8551　神奈川県横浜市都筑区牛久保西３－３－１

■世田谷キャンパス

〒158-8557　東京都世田谷区玉堤１－２８－１





領域および指導教員陣容

２０２４年９月予定

博士前期課程

専攻	領域			指導教員	
環境情報学専攻	環境マネジメント	●	○	教授　大久保 寛基	
		●	○	教授　岡田 公治	
		●	○	教授　佐藤 剛	
		●	○	教授　佐藤 真久	※
		●	○	教授　馬場 健司	
		●	○	教授　古川 柳蔵	※
		●	○	准教授　岡田 啓	
				准教授　古川 務	
		●	○	准教授　兵法　彩	
		●	○	准教授　森　朋子	
	コミュニケーション環境	●	○	教授　岡部 大介	
		●	○	教授　奥村 倫弘	
				教授　小池 星多	
			○	教授　高田 昌幸	
		●	○	教授　中村 雅子	
		●	○	教授　広田 すみれ	
		●	○	准教授　関 博紀	
		●		准教授　永盛 祐介	
		●		准教授　矢吹 理恵	
		●	○	准教授　山﨑 瑞紀	
	情報システム	●		教授　市野 順子	
		●	○	教授　岩野 公司	
		●	○	教授　大谷 紀子	
				教授　関 良明	
		●	○	教授　増田 聡	
		●		教授　宮地 英生	
		●		准教授　小川 祐樹	
		●		准教授　小倉 信彦	
		●	○	准教授　三川 健太	
		●		講師　佐藤 圭浩	
		●	○	講師　藤原 賢二	
	地域・都市環境	●	○	教授　飯島 健太郎	
		●	○	教授　史 中超	
		●	○	教授　横田 樹広	※
		●	○	教授　リジャル H.B.	
		●	○	准教授　加用 現空	※
		●	○	准教授　北村 亘	
		●	○	准教授　後藤　智香子	
		●	○	准教授　丹羽 由佳理	※
			○	准教授　咸 泳植	
都市生活学専攻	都市生活	●		教授　明石 達生	
		●	○	教授　宇都 正哲	
		●		教授　沖浦　文彦	
		●	○	教授　川口 和英	
		●		教授　坂井 文	
		●		教授　坂倉 杏介	
		●	○	教授　高柳 英明	
		●		教授　永江 総宜	
		●		准教授　諫川 輝之	
		●	○	准教授　林 和眞	
		●	○	准教授　太田 明	
		●		准教授　北見 幸一	
		●	○	准教授　齋藤 圭	
		●		准教授　末繁 雄一	
		●		准教授　中島 伸	
		●	○	准教授　西山 敏樹	
		●		准教授　橋本 倫明	
東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻		●	○	教授　佐藤 真久	※
		●	○	教授　古川 柳蔵	※
		●	○	教授　横田 樹広	※
		●	○	准教授　加用 現空	※
		●	○	准教授　丹羽 由佳理	※
		●	○	講師　ニコ　スランタ	
		●	○	講師　リム　インイン	

博士後期課程

専攻	領域		指導教員
環境情報学専攻	環境	◎	教授　飯島 健太郎
		◎	教授　岡田 公治
		◎	教授　大久保 寛基
		◎	教授　佐藤 剛
		◎	教授　佐藤 真久
		◎	教授　史 中超
		◎	教授　馬場 健司
		◎	教授　古川 柳蔵
		◎	教授　横田 樹広
		◎	教授　リジャル H.B.
		◎	准教授　岡田 啓
		◎	准教授　加用 現空
		◎	准教授　北村 亘
		◎	准教授　後藤 智香子
		◎	准教授　丹羽 由佳理
		◎	准教授　咸 泳植
		◎	准教授　兵法 彩
		◎	准教授　森 朋子
	情報	◎	教授　市野 順子
		◎	教授　岩野 公司
		◎	教授　大谷 紀子
		◎	教授　岡部 大介
		◎	教授　小池　星多
			教授　関 良明
			教授　中村 雅子
		◎	教授　広田 すみれ
		◎	教授　増田 聡
		◎	教授　宮地 英生
		◎	准教授　小川 祐樹
		◎	准教授　小倉 信彦
		◎	准教授　関 博紀
		◎	准教授　永盛 祐介
		◎	准教授　三川 健太
		◎	准教授　山﨑 瑞紀
		◎	講師　佐藤 圭浩
		◎	講師　藤原 賢二
都市生活	都市生活	◎	教授　明石 達生
		◎	教授　宇都 正哲
		◎	教授　沖浦　文彦
		◎	教授　川口 和英
		◎	教授　坂井 文
		◎	教授　坂倉 杏介
		◎	教授　高柳 英明
		◎	准教授　諫川 輝之
		◎	准教授　林 和眞
		◎	准教授　太田 明
		◎	准教授　北見 幸一
		◎	准教授　齋藤 圭
		◎	准教授　末繁 雄一
		◎	准教授　中島 伸
		◎	准教授　西山 敏樹
		◎	准教授　橋本 倫明

●印：英語による修士論文指導対応
○印：英語による授業実施
◎印：英語による博士論文指導対応

※印：環境情報学専攻／東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻兼務

募集人員・入学試験概要・諸注意

環境情報学専攻 ／ 都市生活学専攻

１．募集人員

研究科	専攻	博士前期課程	博士後期課程
環境情報学研究科	環境情報学専攻	６２名	６名
	都市生活学専攻	１８名	６名

※前学期入学（推薦試験・一般試験）後学期入学（推薦試験・一般試験）合わせての人数

２．入学試験概要

		後学期入学試験	
		２月実施入試	５月実施入試
推薦入試	学内推薦 （５月実施入試のみ）		本学からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生については、推薦による入学を認めています。
	海外協定校 特別推薦	海外協定校からの進学希望者で、専攻する分野に関連して、所属する学科等の主任教授、及び在籍大学又は大学院の学長に相当する者の推薦を得ている者について、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考します。 【博士前期課程】①書類審査 ②面接試験 【博士後期課程】①書類審査 ②面接試験	
一般試験	一般選抜（日本語） 一般選抜（英語）	学力試験・面接試験・出願書類の審査により選考します。 【博士前期課程】①書類審査　②領域毎の専門試験 ③面接試験（口述試験（英語能力）を含む） 【博士後期課程】①書類審査　②面接試験（「日本語」受験者のみ：英語の口頭試問を含む） ※一般選抜（英語）出願者について ・原則として外国人留学生（英語による授業受講可能者）が対象となります。	
	社会人選抜	出願時に志望する専攻の専門分野に関係する十分な実務経験（２年以上）を有している者について、出願書類に関する審査及び口述試験（英語）を含む面接試験を総合して選考します。 【博士前期課程】　①書類審査　②面接試験（口述試験（英語能力）を含む） 【博士後期課程】　①書類審査　②面接試験（口述試験（英語能力）を含む）	
	留学生特別選抜	海外協定校以外の海外教育機関からの留学生で、専攻する分野に関連して特別な素養を有している者に対し、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考する。 【博士前期課程】①書類審査、面接試験（口述試験を含む） **※出願開始日より 30 日以上前に問い合わせ、専攻による事前審査・適用可否を判断の上、適格と判断された場合には出願を認める。**	
出願期間		２０２４年 １月１２日（金）～１月１８日（木）	２０２４年 ５月２日（木）～５月６日（月）
試験日		２月１４日（水）	５月１５日（水）
合格発表		３月１日（金）１０：００	５月２０日（月）１０：００
手続期限		３月２９日（金）消印有効	６月７日（金）消印有効
試験場		専攻によって試験場が異なりますので注意してください。 ※P. 10 で各キャンパスの地図を確認してください。 ■横浜キャンパス ・環境情報学専攻 ・東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻 ■世田谷キャンパス ・都市生活学専攻	

募集人員・入学試験概要・諸注意

環境情報学専攻／都市生活学専攻

３．諸注意

※ ２月実施入試は、2024 年度Ｃ日程入試と同日実施／5 月実施入試は、2025 年度Ａ日程入試と同日実施
※ 5 月実施入試において「JICA2024 秋受入長期研修プログラム」による志願者については、合格発表および手続きを JICA 経由で別途指示します。
※ 国費外国人留学生制度の志願者で大使館による第一次選考を通過したものについては、環境情報学研究科の判断により、学力試験および領域ごとの専門試験に代え、面接試験を試験日前に実施する場合がある。
※ 国外在住の留学生はオンラインでの受験を認めます。
※ 大学構内での面接が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の２点が可能な環境を整えておいてください。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・筆記試験、面接試験に支障のない静かな環境

４．一般試験（一般選抜（英語）・海外協定校・留学生特別選抜受験について

環境情報学専攻、
都市生活学専攻（博士後期課程）

「博士前期課程」においては、英語による授業及び研究指導が実施され、「博士後期課程」においては英語による領域の特殊研究、及び研究指導が実施されます。英語による授業科目の履修、演習、特別研究（博士前期課程のみ）、並びに英語による各領域の特殊研究（博士後期課程のみ）及び各領域においての論文作成指導により、それぞれの課程の学位取得を可能としています。
開講されている博士後期課程大学院授業科目について、本研究科博士後期課程環境情報学専攻入学者である外国人留学生が履修を希望した場合には、「授業」並びに「研究指導」は、すべて英語で実施します。
本研究科入学後には、ポスター発表、研究英語発表、中間発表、修士論文発表を全て英語で実施します。

① 授業開講時期については、履修希望者と授業科目担当者間で協議のうえ決定します。
② 英語による文献研究、演習及び特別研究は、授業時間内で実施することを原則とします。

学内推薦試験（博士前期課程）※５月実施入試のみ

環境情報学専攻／都市生活学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td colspan="2">推薦試験（学内推薦）</td><td rowspan="2">博士前期課程
①書類審査
②面接試験</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td colspan="2">本学からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生については、推薦による入学を認めます。</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">博士前期課程
本学卒業見込者であり、次の各号の一に該当するとともに本学大学院の志望専攻への進学を第１志望とし、合格後に志望専攻への入学を確約する者。
(1)出願を行う前年度に3年生であり､かつ学業成績上位者(学部の成績が学科全体の1／2以内であること)
(2)出願を行う前年度に4年生であり、かつ学業成績3年生の成績上位1/2以内と同等以上である者
出願者は出願の前に、学部における「卒業研究」指導教員および、本研究科において志望する領域の指導教員と必ず協議し、願書に両者の出願承諾を受けて下さい。</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="3"><table><tr><th>試験日程</th><th>試験時間</th><th>試験科目</th></tr><tr><td>５月実施入試
５月１５日（水）</td><td>13：00～（日本時間）</td><td>面接試験
（1人あたり20分～30分）</td></tr></table></td></tr>
</table>

海外協定校特別推薦

環境情報学専攻／都市生活学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td rowspan="2">推薦試験（海外協定校特別推薦）</td><td>博士前期課程</td><td>博士後期課程</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td>海外協定校からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生については、推薦による入学を認めます。</td><td>①書類審査
②面接試験</td><td>①書類審査
②面接試験</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">博士前期課程

海外協定校からの進学希望者で、次の各号のいずれかに該当する者
(1)大学を卒業した者。(2024 年 9 月 20 日までに学士の学位を取得見込みの者を含む。)
(2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
(3)外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。(2024 年度 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。)
(4)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者。
(5)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者
(6)外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
(7)専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に終了した者
(8)文部科学大臣の指定した者
(9)その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

博士後期課程

海外協定校からの進学希望者で、次の各号のいずれかに該当する者。
(1)修士の学位または専門職学位を有するもの。(2024 年 9 月 20 日までに修士の学位の取得見込みの者を含む。)
(2)外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者（2024 年 9 月 20 日までに学位の取得見込みの者を含む。）
(3)外国の学校行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
(4)我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し。修士の学位や専門職学校に相当する学位を授与された者
(5)国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
(6)文部科学大臣が指定した者
(7)その他、大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="3">博士前期課程・博士後期課程
<table><tr><th>試験日程</th><th>試験時間</th><th>試験科目</th></tr><tr><td>２月実施入試：２月１４日（水）
５月実施入試：５月１５日（水）</td><td>13：00～（日本時間）</td><td>面接試験
（1 人あたり 20 分～30 分）</td></tr></table></td></tr>
</table>

※本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者に対し、授業料減免措置の実施をする場合があります。
　授業料年額の 75%もしくは 50%を減免します。
※国外からの志願者等については、試験時間を変更する場合があります。
※国外からの志願者は、オンラインでの受験を認めます。
※大学構内での試験が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の環境を整えておいてください。
※外国籍の志願者は、原則として、入学時に「留学」の在留資格が取得可能な者とします。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・筆記試験、面接試験に支障のない静かな環境

一般試験　一般選抜（日本語）

環境情報学専攻／都市生活学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td colspan="2">一般選抜（日本語）</td><td>博士前期課程
①書類審査
②領域毎の専門試験
③面接試験
（口述試験（英語能力）を含む）</td><td>博士後期課程
①書類審査
②面接試験
（口述試験（英語能力）を含む）</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td colspan="2">学力試験（博士前期課程のみ）・面接試験・出願書類に関する審査により選考します。</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="4">博士前期課程
次の各号のいずれかに該当する者。
(1)大学を卒業した者。(2024 年 9 月 20 日までに学士の学位の取得見込みの者を含む。)
(2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者。)
(3)外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。(2024 年 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。)
(4)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者。
(5)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者。
(6)外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
(7)専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
(8)文部科学大臣の指定した者。
(9)その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
注意：2024 年 9 月 1 日現在で満 22 歳以上であり、かつ短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国大学日本分校、外国人学校を卒業・修了した者のうち、本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者を含む。
・上記(6)(9)による出願は、事前に入学資格審査を別途実施します。(本要項 P. 29 の「2. 入学資格審査」を参照)
博士後期課程
次の各号のいずれかに該当する者。
(1)修士の学位又は専門職学位を有する者。(2024 年 9 月 20 日までに修士の学位の取得見込みの者を含む。)
(2)外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。(2024 年 9 月 20 日までに学位の取得見込みの者を含む。)
(3)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
(4)我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
(5)国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
(6)文部科学大臣の指定した者。
(7)その他、本大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
・上記(7)による出願は、事前に入学資格審査を別途実施します。(本要項 P. 29 の「2. 入学資格審査」を参照)</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="4">博士前期課程
試験日程：２月実施入試：２月１４日（水）
５月実施入試：５月１５日（水）
試験時間：10：00～12：00　専門領域に関する論述試験（領域毎に出題）
試験時間：13：00～　面接試験（口述試験（英語能力）を含む）（１人あたり 20～30 分程度）
【環境情報学専攻】
志望する領域毎に複数の専門書リストが、指導教員より予め提示されるので、それらをよく読み受験に備えること。過去 3 年間で出題された問題は、ホームページよりダウンロードすることができます。
【都市生活学専攻】
指導教員との協議により、下記の試験種別を事前に選択・決定すること。　指導教員から予め指示された専門書を事前に熟読し、それについての論考を試験時間内に作成する試験、または試験時に指示された専門課題について、設計もしくは計算・企画構成案等を試験時間内に作成する試験。
博士後期課程
試験日程：２月実施入試：２月１４日（水）
５月実施入試：５月１５日（水）
試験時間：13：00～　面接試験（口述試験（英語能力）を含む）</td></tr>
</table>

※外国籍の志願者は、原則として、入学時に「留学」の在留資格が取得可能な者とします。

一般試験　一般選抜（英語）

環境情報学専攻／都市生活学専攻

試験種別	**一般選抜（英語）**	博士前期課程	博士後期課程
試験概要	学力試験（博士前期課程のみ）・面接試験・出願書類に関する審査により選考します。試験は英語にて実施します。	①書類審査 ②領域毎の専門試験 ③面接試験 （口述試験含む）	①書類審査 ②面接試験 （口述試験含む）

出願資格

博士前期課程

次の各号のいずれかに該当する者
(1)大学を卒業した者。(2024 年 9 月 20 日までに学士の学位を取得見込みの者を含む。)
(2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
(3)外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。(2024 年度 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。)
(4)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者。
(5)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者
(6)外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
(7)専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に終了した者
(8)文部科学大臣の指定した者
(9)その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
注意：2024 年 9 月 1 日現在で満 22 歳以上であり、かつ短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国大学日本分校、外国人学校を卒業・修了した者のうち、本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者を含む。

・上記(6)(9)による出願は、事前に入学資格審査を別途実施します。(本要項 P.29 の「2.入学資格審査」を参照)

博士後期課程

次の各号のいずれかに該当する者。
(1)修士の学位または専門職学位を有するもの。(2024 年 9 月 20 日までに修士の学位の取得見込みの者を含む。)
(2)外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者（2024 年 9 月 20 日までに学位の取得見込みの者を含む。)
(3)外国の学校行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者・
(4)我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し。修士の学位や専門職学校に相当する学位を授与された者
(5)国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。
(6)文部科学大臣が指定した者
(7)その他、大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

・上記(7)による出願は、事前に入学資格審査を別途実施します。(本要項 P.29 の「2.入学資格審査」を参照)

選考方法

博士前期課程

試験日程	試験時間	試験科目
２月実施入試：２月１４日（水） ５月実施入試：５月１５日（水）	10：00～12：00	専門領域に関する論述試験（領域毎に出題）
	13：00～	面接試験(口述試験(英語能力)を含む) （１人あたり 20～30 分程度）

【環境情報学専攻】
志望する領域毎に複数の専門書リストが、指導教員より予め提示されるので、それらをよく読み受験に備えること。過去 3 年間で出題された問題は、ホームページよりダウンロードすることができます。

博士後期課程

試験日程	試験時間	試験科目
２月実施入試：２月１４日（水） ５月実施入試：５月１５日（水）	13：00～	面接試験 (口述試験(英語能力)を含む)

※外国籍の志願者は、原則として、入学時に「留学」の在留資格が取得可能な者とします。

一般試験　社会人選抜

環境情報学専攻／都市生活学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td colspan="2">社会人選抜</td><td>博士前期課程</td><td>博士後期課程</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td colspan="2">出願時に十分な実務経験（２年以上）を有している者について、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考する。※1</td><td>①書類審査
②面接試験
（口述試験（英語能力）を含む）</td><td>①書類審査
②面接試験
（口述試験（英語能力）を含む）</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="4">博士前期課程
出願時に志望する専攻の専門分野に関係する十分な実務経験（2 年以上）を有し、次の各号のいずれかに該当する者。
(1)大学を卒業した者。(2024 年 9 月 20 日までに学士の学位の取得見込みの者を含む。)
(2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者。
(3)外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。(2024 年 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。)
(4)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者。
(5)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者。
(6)外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
(7)専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
(8)文部科学大臣の指定した者。
(9)その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

注意：2024 年 4 月 1 日現在で満 22 歳以上であり、かつ短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国大学日本分校、外国人学校を卒業・修了した者のうち、本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者を含む。

・上記(6)(9)による入学は、事前に入学資格審査を別途実施します。（本要項 P.29 の「2.入学資格審査」を参照）

博士後期課程
出願時に志望する専攻の専門分野に関係する十分な実務経験（2 年以上）を有し、次の各号のいずれかに該当する者。
(1)修士の学位又は専門職学位を有する者。(2024 年 9 月 20 日までに修士の学位の取得見込みの者を含む。)
(2)外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。(2024 年 9 月 20 日までに学位の取得見込みの者を含む。)
(3)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者。
(4)我が国において、外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者。
(5)国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者。(2024 年 9 月学位の取得見込みの者を含む。)
(6)文部科学大臣の指定した者。
(7)その他、本大学院において修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

・上記(7)による出願は、事前に入学資格審査を別途実施します。（本要項 P.29 の「2.入学資格審査」を参照）</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="4">博士前期課程　博士後期課程
<table><tr><th>試験日程</th><th>試験時間</th><th>試験科目</th></tr><tr><td>２月実施入試：２月１４日（水）
５月実施入試：５月１５日（水）</td><td>13:00～</td><td>研究計画書を基にした、口述試験(英語能力）を含む面接試験（１人当たり２０～３０分程度）</td></tr></table></td></tr>
</table>

◆社会人選抜により入学した者については、授業料の減免制度があります。志願者の希望に基づき本学による審査の結果、博士前期課程においては授業料年額の 50%、博士後期課程においては授業料年額の 90%を減免する場合があります。

※1 実務経験（2 年以上）は、志願する専門分野に関係する実務経験であること。

※国外からの志願者等については、試験時間を変更する場合があります。
※国外在住の留学生はオンラインでの受験を認めます。
※大学構内での試験が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の環境を整えておいてください。
※外国籍の志願者は、原則として、入学時に「留学」の在留資格が取得可能な者とします。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・筆記試験、面接試験に支障のない静かな環境

一般試験　留学生特別選抜

環境情報学専攻／都市生活学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td colspan="2">一般選抜（留学生特別選抜）</td><td>博士前期課程</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td colspan="2">海外協定校以外の海外教育機関からの留学生で、専攻する分野に関連して特別な素養を有している者に対し、出願書類に関する審査及び口述試験を含む面接試験を総合して選考する。
出願開始日より 30 日以上前に問い合わせ、専攻による事前審査・適用可否を判断の上、適格と判断された場合には出願を認める。</td><td>①書類審査
②面接試験
（口述試験を含む）</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">以下(1)～(4)の全てを満たす者とする。
(1)「一般選抜」の出願資格（以下(1)～(9)）を充たし、かつ専攻する分野に関連して特別な素養を有している者
(2)日本国以外の国籍を有し、入学時に「留学」の在留資格が取得可能である者
(3)日本国外に設置された教育機関（本学の海外協定校を除く）で、日本国以外の教育課程を修了した者（2024 年 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。）
(4)事前審査において、本選抜への出願が認められた者

博士前期課程

次の各号のいずれかに該当する者。
(1)大学を卒業した者。（2024 年 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。）
(2)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者。）
(3)外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者。（2024 年 9 月 20 日までに修了見込みの者を含む。）
(4)外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程を修了した者。
(5)我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者。
(6)外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。
(7)専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
(8)文部科学大臣の指定した者。
(9)その他本大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。
注意：2024 年 4 月 1 日現在で満 22 歳以上であり、かつ短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、外国大学日本分校、外国人学校を卒業・修了した者のうち、本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者を含む。

・上記(6)(9)による出願は、事前に入学資格審査を別途実施します。（本要項 P. 29 の「2. 入学資格審査」を参照）</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="3">博士前期課程
<table><tr><th>試験日程</th><th>試験時間</th><th>試験科目</th></tr><tr><td>２月実施入試：２月１４日（水）
５月実施入試：５月１５日（水）</td><td>13：00～</td><td>口述試験を含む面接試験
（１人あたり 20～30 分程度）</td></tr></table></td></tr>
</table>

※外国籍の受験者は、原則、入学時に「留学」の在留資格が取得可能な者とする。

出願手続き（出願書類）

環境情報学専攻／都市生活学専攻

５．出願書類

下記より参照（「対象」欄に●印がある場合は、該当の書類を提出してください。）
課程・試験種別によって異なりますので注意して下さい。
※各種証明書は出願日から起算して、３ヶ月前以内に発行されたものに限ります。

【推薦試験（学内推薦）】博士前期課程のみ　※５月実施入試のみ

No.	所定用紙	出願手続き書類	注意事項
1	Ａ票	入学志願票	学部「卒業研究」指導教員と、本研究科志望領域の指導教員両者の出願承諾が必要となります。
	－	出願承諾確認メール	「卒業研究」指導教員と志望する指導教員から出願承諾を受けたことがわかるメールをA4サイズで印刷し同封してください。
2	Ｂ票	入学検定料	入学検定料は検定料決済システムにより払い込み、領収書等をＢ票の所定欄に貼り付けて下さい。
3		副票（写真票）	出願前３ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽(タテ４㎝×ヨコ３㎝)のものをＢ票の所定欄に貼付して下さい。
4	Ｃ票	志望理由および研究計画	志望する指導教員と相談のうえ提出して下さい。
5	－	成績証明書	３年次終了までのものを発行してください。
6	Ｈ票	外国人留学生のみ 志願者調査票	国籍や在留資格等の確認のためにパスポートの必要ページ（氏名・顔写真・サイン等記載ページ）及び、在留カード（カード型）両面のコピーを添付すること。
7	－	外国人留学生のみ 在留カード、 パスポート（コピー）	・在留カード（両面）のコピー ・パスポートのコピー（本人写真ページ、入国ビザ貼付ページ）
8	Ｉ票	受験票宛名ラベル	受験関係書類の送付先宛名を明記して下さい。

出願手続き（出願書類）

環境情報学専攻／都市生活学専攻

５．出願書類

【推薦試験（海外協定校特別推薦）】

No.	対象 博士前期課程（学内推薦）	対象 博士後期課程	所定用紙	出願手続き書類	注　意　事　項
1	●	●	Ａ票	入学志願票	志望する領域名を記載し、事前にメールで志望する指導教員の出願承諾を受けてください。（「1.出願承諾確認」参照）
	●	●	－	出願承諾確認メール	志望する指導教員から出願承諾を受けたことが分かるメール等をA4サイズで印刷し同封してください。
2	●	●	Ｂ票	入学検定料	入学検定料は検定料決済システムにより払い込み、領収書等をＢ票の所定欄に貼り付けてください。
3	●	●		副票（写真票）	出願前３ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽（たて４cm×よこ３cm）のものをＢ票の所定欄に貼付してください。
4	●	●	Ｃ票	志望理由および研究計画	志望する指導教員と相談のうえ提出してください。
5	●	●	－	成績証明書	最終出身学校（または現在在学中）の「成績証明書」 ※出願日から起算して、3ヶ月前以内に発行されたもの
6	●	●	－	卒業(修了)証明書・卒業(修了)見込証明書	※出願日から起算して、3ヶ月前以内に発行されたもの 博士前期課程　志願者 大学学部の「卒業証明書（卒業・学位取得証明書)」または「卒業見込証明書」 博士後期課程　志願者 最終出身学校の大学院修士課程／博士前期課程の「修了証明書」または「修了見込証明書」
7	●	●	Ｅ票	海外協定校特別推薦入試における推薦書	出願者が所属する学科等の主任教授及び在籍大学又は大学院の学長に相当する者の連名の推薦書
8	●	●	Ｈ票	志願者調査票	国籍や在留資格等の確認のためにパスポートの必要ページ（氏名・顔写真・サイン等記載ページ）及び、在留カード（カード型）両面のコピーを添付してください。。
9	●	●	―	在留カード、パスポート（コピー）	・在留カード（両面）のコピー ・パスポートのコピー（本人写真ページ、入国ビザ貼付ページ）
10	●	●	Ｉ票	受験票宛名ラベル	「受験票」や「合格通知書」など受験関係書類の送付先宛名を明記してください。

出願手続き（出願書類）

環境情報学専攻／都市生活学専攻

５．出願書類

【一般選抜（日本語）、一般選抜（英語）、社会人選抜、留学生特別選抜】

No.	対象 博士前期課程	対象 博士後期課程	所定用紙	出願手続き書類	注意事項
1	●	●	Ａ票	入学志願票	志望する領域名を記載し、事前にメールで志望する指導教員の出願承諾を受けてください。
	●	●		出願承諾確認メール	志望する指導教員から出願承諾を受けたことが分かるメールをA4サイズで印刷し同封してください。
2	●	●	Ｂ票	入学検定料	入学検定料は検定料決済システムにより払い込み、領収書等をＢ票の所定欄に貼り付けてください。
3	●	●		副票（写真票）	出願前３ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽（たて４㎝×よこ３㎝）のものをＢ票の所定欄に貼付してください。
4	●	●	Ｃ票	志望理由および研究計画	志望する指導教員と相談のうえ提出してください。
5	●	●	－	成績証明書	最終出身学校（または現在在学中）の「成績証明書」 ※出願日から起算して、3ヶ月前以内に発行されたもの
6	● ［一般選抜（日本語）］志願者対象 注意事項参照	—	－	TOEIC公式認証（オンライン受験不可）	面接試験における英語口頭試問の免除を希望する方は提出して下さい。（コピー不可） 基準点については、出願前に教学課にお問い合わせください。 入学試験実施時の前々年度の４月１日以降のスコアのみを有効とします。
7	●	●	－	卒業(修了)証明書・卒業(修了)見込証明書	※出願日から起算して、3ヶ月前以内に発行されたもの 博士前期課程　志願者 大学学部の「卒業証明書（卒業・学位取得証明書）」または「卒業見込証明書」 博士後期課程　志願者 最終出身学校の大学院修士課程／博士前期課程の「修了証明書」または「修了見込証明書」
8	● ［社会人選抜］志願者対象	● ［社会人選抜］志願者対象	Ｄ票	業務経歴書	Ｄ票（本人記入）・Ｅ票（本人を熟知する者記入）のうち、どちらかを提出すること。また、所定用紙の各項目を含んでいれば任意様式による提出でも可。 *減免制度を希望される方は、「希望する」の□欄にレ点を入れてください。
9	● ［社会人選抜］志願者対象	● ［社会人選抜］志願者対象	Ｅ票	推薦書	
10	－	●	Ｆ票	博士前期課程等における研究概要	
11	● 外国人留学生対象	● 外国人留学生対象	Ｈ票	志願者調査票	国籍や在留資格等の確認のためにパスポートの必要ページ（氏名・顔写真・サイン等記載ページ）及び、在留カード（カード型）両面のコピーを添付してください。
12	● 外国人留学生対象	● 外国人留学生対象	－	在留カード、パスポート（コピー）	・在留カード（両面）のコピー ・パスポートのコピー（本人写真ページ、入国ビザ貼付ページ）
13	●	●	Ｉ票	宛名ラベル	「受験票」や「合格通知書」など受験関係書類の送付先宛名を明記してください。
14	● ［留学生特別選抜］志願者対象	—	Ｊ票	留学生特別選抜適用申請書	留学生特別選抜の適用を申請する場合には、原則として出願の30日前に、志望する専攻の指導教員に申請の上、出願時に提出できるよう手配してください。

入学後の履修について

環境情報学専攻／都市生活学専攻

博士前期課程

環境情報学研究科博士前期課程を修了するために必要な要件は、本大学院に２年以上在学し、３０単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、本研究科の行う修士論文の審査及び試験に合格することとします。
修得単位数（３０単位）の内訳は右記のとおりです。
なお、「文献研究・演習」「特別研究」は、授業時間外において、「研究指導教員」の指導のもとに行います。

文献研究・演習	４単位
特別研究	６単位
小　計	１０単位
授業科目	２０単位以上
合　計	３０単位以上

博士後期課程

環境情報学研究科博士後期課程を修了するために必要な要件は、本大学院に３年以上在学（授業はありません）し、必要な研究指導を受けた上、本研究科の行う博士論文の審査及び試験に合格することとします。
必修科目（研究指導）の修得単位数（２４単位）の内訳は右記のとおりです。

講究	８単位
特殊研究	１６単位
合　計	２４単位

主なスケジュール予定（参考）

博士前期課程１年次	
９月下旬	履修登録（後期）
１２月上旬	**大学院研究英語発表会（12 月）**
１月下旬	学位論文主題仮提出に関するガイダンス
４月中旬	履修登録（前期）
７月中旬	**大学院研究英語発表会（7 月）**

博士前期課程２年次	
９月下旬	**ポスター発表会**
９月下旬	履修登録（後期）
１０月中旬 ２月中旬	**学位論文主題等届出締切** **中間発表会**
４月中旬	履修登録（前期）
６月下旬	**学位請求書、学位論文等提出締切**
７月	**修士論文発表会**
９月上旬 ９月中旬	学位授与（修士）資格認定者発表 学位授与式

博士後期課程３年次	
９月下旬	履修登録（後期）
１２月上旬	**大学院研究英語発表会（12 月）**
４月中旬	履修登録（前期）
７月中旬	**大学院研究英語発表会（7 月）**

博士後期課程４年次	
９月下旬	**ポスター発表会**
９月下旬	履修登録（後期）
２月中旬	**中間発表会（第１回）**
４月中旬	履修登録（前期）

博士後期課程５年次	
９月下旬	履修登録（後期）
１０月中旬	**学位論文主題等届出締切**
１１月中旬	**中間発表会（第２回）**
４月中旬	履修登録（前期）
５月上旬	**学位論文提出締切**
６月	**博士論文発表会**
６月下旬	**学位請求書、学位論文等提出締切**
９月上旬 ９月中旬	学位授与（博士）資格認定者発表 学位授与式

募集人員・入学試験概要・諸注意 ※５月実施入試のみ

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻 ※博士前期課程のみ

１．募集人員

研究科	専攻	博士前期課程
環境情報学研究科	東京都市大学・エディスコーワン大学 国際連携環境融合科学専攻	５名

※前学期入学（推薦試験・一般試験）後学期入学（推薦試験・一般試験）合わせての人数

２．入学試験概要

	５月実施入試のみ
学内推薦	本学からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生については、推薦による入学を認めます。 ①　書類審査　②　面接試験
一般試験 一般選抜(英語)	試験はすべて英語で実施します。 書類審査 ／ 専門試験 ／ 英語試験 ／ 面接試験 を実施します。 専門試験、英語試験、面接試験は各 100 点とし、300 満点で判定します。 英語試験は、英語外部検定試験のスコアを利用します。
出　願　期　間	２０２４年 ５月２日（木）～５月６日（月）(必着)
試　　験　　日	５月１５日（水）
合　格　発　表	５月２０日（月）１０：００
手　続　期　限	６月７日（金）消印有効
入　　学　　日	２０２４年９月２１日（土）

３．諸注意

・国外からの志願者は、オンラインでの受験を認めます。
・大学構内での試験が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の２点が可能な環境を整えておいてください。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・筆記試験、面接試験に支障のない静かな環境

学内推薦試験（博士前期課程）※５月実施入試のみ

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td colspan="2">推薦試験（学内推薦）</td><td rowspan="2">博士前期課程
①書類審査
②面接試験</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td colspan="2">本学からの進学希望者で、学力・人物ともに優秀な学生については、推薦による入学を認めます。</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">IELTS 6.5 以上(各項目 6.0 以上)（エディスコーワン大学が入学資格として定める English Language requirements(Band 4)に掲載された英語検定試験のスコアも可）を有し、かつ以下(1)(2)のいずれかに該当する者。なお、英語外部検定試験のスコアは入学日から遡って 2 年以内に取得したものを有効とする。

本学卒業見込者であり、次の各号の一に該当するとともに本学大学院の志望専攻への進学を第 1 志望とし、合格後に志望専攻への入学を確約する者。

(1)出願を行う前年度に 3 年生であり、かつ学業成績上位者(学部の成績が学科全体の 1／2 以内であること)
(2)出願を行う前年度に 4 年生であり、かつ学業成績 3 年生の成績上位 1/2 以内と同等以上である者。</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="3"><table><tr><th>試験日程</th><th>試験時間</th><th>試験科目</th></tr><tr><td>５月１５日（水）</td><td>13：00～（日本時間）</td><td>面接試験
（1 人あたり 20 分～30 分）</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="3">・英語外部検定試験等の受験費用等は自己負担となります。
【 English Language requirements (Band 4) 参照 URL 】
https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands
(English Language requirements (Band 4)の具体例)
・IELTS Academic (IELTS Academic UKVI を含む) のスコア 6.5 以上（各項目 6.0 以上)。
・TOEFL iBT または TOEFL iBT Special Home Edition のスコア 84 以上（各項目 17 以上)。
※IELTS Academic オンラインテストのスコアは対象外。
※入学日から遡って 2 年以内に取得したスコアを有効とする。</td></tr>
</table>

一般選抜（英語）（博士前期課程）※５月実施入試のみ

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻

<table>
<tr><td>試験種別</td><td colspan="2">一般選抜（英語）</td><td rowspan="2">博士前期課程
①書類審査
②専門試験
③英語試験
④面接試験</td></tr>
<tr><td>試験概要</td><td colspan="2">学力試験・面接試験・出願書類に関する審査により選考します。
試験はすべて英語で実施します。</td></tr>
<tr><td>出願資格</td><td colspan="3">IELTS 6.5 以上(各項目 6.0 以上)（エディスコーワン大学が入学資格として定める English Language requirements(Band 4)に掲載された英語検定試験のスコアも可）を有し、かつ以下(1)～(3)のいずれかに該当する者。なお、英語外部検定試験のスコアは入学日から遡って 2 年以内に取得したものを有効とする。

(1) 大学を卒業した者（2024 年 9 月卒業見込み者を含む）
(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者
(3) 外国の大学等（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者。※1</td></tr>
<tr><td>選考方法</td><td colspan="3">
<table>
<tr><th>試験日程</th><th>試験時間</th><th>試験科目</th></tr>
<tr><td rowspan="3">５月１５日（水）</td><td>10：00～12：00</td><td>専門試験</td></tr>
<tr><td>13：00～</td><td>面接試験（1 人あたり 20～30 分程度）</td></tr>
<tr><td>－</td><td>英語試験(提出された英語外部検定試験のスコアを利用)</td></tr>
</table>
●「専門試験」については、複数の専門書リストが、指導教員より予め提示されるので、それらをよく読み受験に備えること。
●「英語試験」については、提出された英語外部検定試験のスコアを利用する。</td></tr>
<tr><td>その他</td><td colspan="3">・英語外部検定試験等の受験費用等は自己負担となります。
【 English Language requirements (Band 4) 参照 URL 】
https://www.ecu.edu.au/future-students/course-entry/english-proficiency-bands
(English Language requirements (Band 4)の具体例)
・IELTS Academic (IELTS Academic UKVI を含む）のスコア 6.5 以上（各項目 6.0 以上)。
・TOEFL iBT または TOEFL iBT Special Home Edition のスコア 84 以上（各項目 17 以上)。
※IELTS Academic オンラインテストのスコアは対象外。
※入学日から遡って 2 年以内に取得したスコアを有効とする。</td></tr>
</table>

■外国籍の受験者は、原則、入学時に「留学」の在留資格が取得可能な者とする。
※1 予め該当の可否を判断するため、出願開始日から 30 日以上前まで問い合わせを受け付ける。

出願手続き（出願書類）※５月実施入試のみ

４．出願書類

【推薦試験（学内推薦）】

No.	所定用紙	出願手続き書類	注意事項
1	A票	入学志願票	学部「卒業研究」指導教員と、本専攻の志望指導教員両者の出願承諾が必要となります。
	－	出願承諾確認メール	「卒業研究」指導教員と志望する指導教員から出願承諾を受けたことがわかるメールをA4サイズで印刷し同封してください。
2	B票	入学検定料	入学検定料は検定料決済システムにより払い込み、領収書等をＢ票の所定欄に貼り付けて下さい。
3		写真票	出願前３ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽(タテ４㎝×ヨコ３㎝)のものをＢ票の所定欄に貼付して下さい。
4	C票	志望理由および研究計画	志望する指導教員と相談のうえ提出して下さい。
5	－	成績証明書	３年次終了までのものを発行してください。
6	H票	外国人留学生のみ 志願者調査票	国籍や在留資格等の確認のためにパスポートの必要ページ（氏名・顔写真・サイン等記載ページ）及び、在留カード（カード型）両面のコピーを添付すること。
7	－	外国人留学生のみ 在留カード、 パスポート（コピー）	・在留カード（両面）のコピー ・パスポートのコピー（本人写真ページ、入国ビザ貼付ページ）
8	－	英語外部検定試験のスコア	※<u>入学日から遡って２年以内に取得したスコアを有効とする。</u> IELTS または TOEFL iBT のスコアを提出すること。
9	I票	受験票宛名ラベル	受験関係書類の送付先宛名を明記して下さい。

出願手続き（出願書類）※５月実施入試のみ

４．出願書類

【一般選抜（英語）】

No.	所定用紙	出願手続き書類	注　意　事　項
1	Ａ票	入学志願票	事前にメール等で志望する指導教員からの出願承諾を受けること。
	－	出願承諾確認メール	志望する指導教員から出願承諾を受けたことが分かるメール等を A4 サイズで印刷し、同封すること。
2	Ｂ票	入学検定料	検定料決済システムから払い込み、領収書等をＢ票の所定欄に貼り付けて提出すること。
3		副票（写真票）	出願前６ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽（たて４ cm×よこ３ cm）のものをＢ票の所定欄に貼付すること。
4	Ｃ票	志望理由 及び 研究計画	志望する指導教員と相談のうえ提出すること。
5	－	成績証明書	※出願日から遡って３ヶ月以内に発行されたもの。 最終出身学校（または現在在学中）の「成績証明書」
6	－	卒業証明書 または 卒業見込証明書	※出願日から遡って３ヶ月以内に発行されたもの。 大学学部の「卒業証明書（卒業・学位取得証明書）」または「卒業見込証明書」
7	－	学士の学位取得見込証明書 または 学位取得証明書	※外国人留学生のみ対象 詳細は、次頁参照。
8	－	英語外部検定試験のスコア	※<u>入学日から遡って２年以内に取得したスコアを有効とする。</u> IELTS または TOEFL iBT のスコアを提出すること。
9	Ｈ票	志願者調査票	国籍や在留資格等の確認のためにパスポートの必要ページ（氏名・顔写真・サイン等記載ページ）及び、在留カード（カード型）両面のコピーを添付すること。
１０	－	在留カード、 パスポート（コピー）	・在留カード（両面）のコピー ・パスポートのコピー（本人写真ページ、入国ビザ貼付ページ）
１１	Ｉ票	受験票宛名ラベル	「受験票」や「合格通知書」など受験関係書類の送付先宛名を明記すること。

出願手続き（出願承認確認・入学資格審査・検定料・諸注意）

全専攻共通

１．出願承諾確認

博士前期課程／博士後期課程　共通事項

志願者は出願の前に志望する領域の指導教員と必ず協議し、事前にメール等で指導教員の出願承諾を受けて下さい。

~~▷研究指導補助教員（＊印）を指導教員として志望する場合、出願時に同領域内の研究指導教員（無印）の出願承諾が必要となります。~~**（対象なし）**

~~▷指導教員名に△印または◇印がある場合、出願時に指導教員と引継指導教員の出願承諾が必要となります。~~**（対象なし）**

博士後期課程のみ

▷指導教員と副指導教員（アドバイザー）を決める必要があります。（研究指導補助教員を除く）
▷指導教員と副指導教員、それぞれ出願承諾が必要です。

２．入学資格審査

【対象者】

■環境情報学専攻・都市生活学専攻　以下のいずれかに該当する出願者は、入学資格審査を行います。

博士前期課程	博士後期課程
■一般選抜(日本語)の出願資格(6)または(9)	■一般選抜(日本語)の出願資格(7)
■一般選抜（英語）の出願資格(6)または(9)	■一般選抜（英語）の出願資格(7)
■社会人選抜の出願資格(6)または(9)	■社会人選抜の出願資格(7)

■東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻
出願資格(3)P.26 に該当する出願者は、入学資格審査を行います。（一般選抜のみ対象）

【提出書類】出願書類と同一

【提出期間】願書受付期間と同一期間

	２月実施入試	５月実施入試
提出期間	１月１２日（金）～１月１８日（木）	５月２日（木）～５月６日（月）

■出願後、入学資格審査を実施します。審査の結果「不可」になった場合、入学検定料返還する場合があります。

３．検定料

３５，０００円　――入学検定料は検定料決済システムにより払い込んで下さい。
http://www.guide.52school.com/guidance/pay-tcu-g/

入学検定料は右記のサイト(http://www.guide.52school.com/guidance/pay-tcu-g/)にアクセスし、登録後、最寄りのコンビニエンスストア（セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート、ミニストップ・デイリーヤマザキ・セイコーマート)、ペイジー（「Pay-easy」マークのある全国のゆうちょ銀行や各銀行等の ATM）または、クレジットカードで納入してください。入学検定料の納入の際には、入学検定料の他に決済手数料（990 円）がかかります。
※検定料納入期間は各入試の出願期間と同じです。
※金融機関の窓口での取り扱いは行いません。
※一旦納入した入学検定料は、理由のいかんにかかわらず返還しませんので、充分注意してください。
※家族や知人が代理で手続きをする場合も、必ず志願者本人の情報を入力してください。

４．諸注意

注意１：出願時に健康診断書の提出は必要ありませんが、身体の障害等により、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に教育支援センターまでその旨を連絡して下さい。
注意２：その他不明な点は、以下まで問い合わせて下さい。
環境情報学専攻
東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻　教学課［yckyoumu@tcu.ac.jp］
都市生活学専攻　教学課［sckyoumu@tcu.ac.jp］
注意１：専攻によって試験場が異なりますので注意して下さい。
※P.10 で各キャンパスの地図を確認して下さい。
注意２：面接試験の開始時間や受験者控室は、受験票発送時にお知らせします。
注意３：大学構内での試験が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の環境・設備を整えておいてください。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・面接試験に支障のない静かな環境

出願手続き（外国人留学生注意事項）

全専攻共通

５．TOEIC試験による英語口頭試問の免除する場合　博士前期課程（一般選抜(日本語)）のみ

出願書類：６	TOEIC公式認定証（オンライン受験不可）

ＴＯＥＩＣテスト［公開テスト、ＩＰテスト（団体特別受験制度）のいずれでも可］で本学大学院の定める基準以上のスコアを有している者は、面接試験における英語口頭試問を免除する場合があります。基準点については、必ず出願前に教育支援センターにお問い合わせください。ただし、入学試験実施時の前々年度の4月1日以降のスコアのみを有効とします。書類の不備等により免除が認められない場合、受験票の発送までに別途連絡します。

公開テスト

(一財)国際ビジネスコミュニケーション協会が、年 10 回（1・3・4・5・6・7・9・10・11・12 月）全国 80 都市で実施する試験のことを指します。申し込みは、インターネットもしくはコンビニエンスストアにて行っています。
詳細は、下記ＴＯＥＩＣ運営委員会の Web ページを参照してください。

IP テスト　団体特別受験制度(ＩＰ:Institutional Program)

主催者は、上記と同じで、団体（企業・学校など）で法人格のあるものが、所属者を対象に、実施する試験（10名以上の一括受験に限る）のことを指します。また、テスト結果の有効性は通常公開テストと同等であると判断されます。
なお本学では各キャンパスで年に数回実施しています。実施や申込み方法等の詳細については、別途掲示にてお知らせしますので、各自確認してください。※オンラインで受験した際のスコア表は受理されませんので注意してください。

６．外国人留学生の注意事項

出願書類	成績証明書
	卒業(修了)証明書・卒業(修了)見込証明書

に関する注意点です。

以下の記載事項は日本国外の大学を卒業（修了）又は卒業（修了）見込の志願者を対象としています。

6-1. 全外国人留学生　志願者　共通事項

1. 自国の最終出身校が発行した「成績証明書」「卒業（修了）証明書」を必ず提出してください。証明書は、必ず学校の公印が押されたものを提出してください。証明書が複数ページある場合は、すべてのページに公印が必要です。
2. 「成績証明書」「卒業（修了）証明書」は、原本または certified true copy（原本から正しく複製されたものであることを卒業（修了）した学校や大使館等公的機関によって証明されたコピー）を提出してください。
3. 日本語・英語以外で記載されている場合には、日本語または英語の訳文をつけてください。
訳文は大使館などの公的機関で、原本の意味と相違がない旨の証明を受けてください。
4. 「卒業（修了）証明書」のほかに、「卒業（修了）証書（Diploma)」のコピーも可能な限り提出してください。
5. 証明書の氏名・生年月日等がパスポートの記載と異なる場合は、大使館等の公的機関で同一人物であることの証明を受けてください。
6. 証明書は、**出願日から起算して３ヶ月前以内に発行されたものを提出してください。**
但し、原本が１部しかない場合はこの限りではありませんので、事情を説明するメモを同封してください。
7. 入学後（2025 年 4 月以降）は本学に登学できることが出願の前提です。
日本の在留資格を有していない者は、新規での査証申請が必要となるため入国が遅れる恐れがありますので、余裕をもって準備を進めてください。
8. 本学の学部・博士前期課程・博士後期課程出身者は当該課程についての「成績証明書」「卒業（修了）証明書」は提出不要ですが、本学で学修していない課程についての「成績証明書」「卒業（修了）証明書」は提出してください。
9. 原則、入学時までに在留資格「在留」を取得見込みとしてください。

6-2.「本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した」ことが条件となる授業料減免を希望する方

授業料減免制度のうち、本学の海外協定校卒業（見込）または修了（見込）が選考条件となる減免を希望する場合の「３．出願書類一覧、5.成績証明書」は、最終ＧＰＡ値（見込の者は直近のＧＰＡ値）が記載されたものを提出してください。

ＧＰＡ値の記載がない成績証明書が提出された場合、私費外国人留学生授業料減免において必要な審査ができないため、希望する減免が受けられない場合があります。
この場合、「本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した」ことが選考条件となる減免は希望しないものとして取り扱います。

（参考）私費外国人留学生授業料減免（本学独自）

対　　象	学費減免率	備　　考
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者又は卒業見込みの者 （イ）本学大学院入試出願時の GPA 値が 3.0 以上の者	授業料年額の 75%	学内国際委員会が選考し学長が決定する。
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者又は卒業見込みの者 （イ）本学大学院入試出願時の GPA 値が 2.5 以上 3.0 未満の者	授業料年額の 50%	
上記以外の私費外国人留学生	授業料年額の 30%	

出願手続き（外国人留学生注意事項）

全専攻共通

6-3. 中華人民共和国内の大学または大学院を卒業（見込）・修了（見込）の方

博士前期課程志願者：□環境情報学専攻・都市生活学専攻
1～4（大学学部のもの）を提出してください。
□東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻
1～4（大学学部のもの）、6 を提出してください。
博士後期課程志願者：　1～6（大学学部のものおよび博士前期（修士）課程のもの）を提出してください。

「学歴認証書」・「成績認証書」・「学位認証書」は**申請から発行まで 3 か月程度かかる場合があります**ので、早めに手続きをしてください。**出願期間内に上記の書類が提出されていない場合は、出願を受理しないことがあります。**
なお出願時に同封する必要がありますので、出願前に準備が完了するようにしてください。書類を追送する前提での出願は受理できません。

■学歴認証書・成績認証書・学位認証書について
学歴認証書、成績認証書、学位認証書は CHSI 中国高等教育学生信息网（ https://www.chsi.com.cn/en/pvr ）が取り扱っています。
日本国内では CHSI 日本代理機構　（ http://www.chsi.jp ）での発行申請が可能です。
電子データの認証書を提出する場合は、出願期間内に CSSD（教育部学生服务与素质发展中心）（旧称：(CHESICC)全国高等学校学生信息咨询与就业指导中心）**から本学 教学課（ yckyoumu@tcu.ac.jp ）へ、電子メールで直送されるよう手配してください。志願者等による電子メールの転送は出願書類として認められません。**
出願期間を過ぎた場合は出願を受理しない場合があります。手続きの詳細は各自で確認してください。

博士前期/博士後期 共通	1	**「卒業(修了)証明書（Certificate of Graduation)」の原本または certified true copy**
		卒業した大学が発行し、18 桁の番号が記載されているもの
	2	**「学歴認証書」(Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate)**
		CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。 ※Online Verification Report of China Higher Education Qualification Certificate を提出する場合は、下記の注意をよく読んで手続きをしてください。
	3	**「成績証明書（Transcript of Results)」の原本または certified true copy**
		卒業した大学が発行したもの。編入等した場合には編入等前の成績も提出してください。
	4	**「成績認証書」(Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript)**
		CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。 ※Online Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript を提出する場合は、下記の注意をよく読んで手続きをしてください。
博士後期のみ	5	**「学位証明書（Certificate of Degree)」の原本または certified true copy**
		16 桁の番号が記載されているもの。
	6	**「学位認証書」(Verification Report of Higher Education Degree Certificate)**
		CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行し、英文で記載されたもの。 ※Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate を提出する場合は、下記の注意をよく読んで手続きをしてください。

出願手続き（出願受付期間・試験日時・場所 等）

全専攻共通

７．出願受付機関　郵送（簡易書留・速達またはレターパックプラス（520 円赤色））　※窓口では受付していません。

２月実施入試	５月実施入試
出願期間 ２０２４年1月１２日（金）～1月１８日（木）（必着）	出願期間 ２０２４年5月２日（木）～5月６日（月）（必着）
送付先 【環境情報学専攻】 【東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻】 〒224-8551　神奈川県横浜市都筑区牛久保西３－３－１ 東京都市大学　教学課　宛 【都市生活学専攻】 〒158-8557　東京都世田谷区玉堤１－２８－１ 東京都市大学　教学課　宛	

※出願手続き後の提出書類の内容変更および返還ならびに入学検定料の払い戻しは認めません。
※受験票の交付をもって入学検定料の領収書に代えます。
※国外からの志願者等は、別の指示をする場合があります。

８．試験日時・場所

研究科	専攻	日　　時	場所
環境情報学研究科	環境情報学専攻 東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻	２月実施入試 ２０２４年2月１４日（水） ５月実施入試 ２０２４年5月１５日（水） 詳細は p.12～21 を参照のこと	横浜キャンパス
	都市生活学専攻		世田谷キャンパス

※専攻によって試験場が異なりますので注意して下さい。※P.10 で各キャンパスの地図を確認して下さい。
※大学構内での試験が困難であると本学が判断した場合は、別途指示の上、Web を利用して試験を実施する場合があります。指示があった場合に備え、あらかじめ以下の環境を整えておいてください。

・動画・音声の送受信を行えるインターネット環境、コンピュータ、ウェブカメラ、イヤホン、マイク等
・筆記試験、面接試験に支障のない静かな環境

９．受験票の発送について

受験票は出願書類 A 票に記載されたメールアドレスに送信します。
試験日１週間前までに通知がない場合は、以下の問い合わせ先まで確認をお願いいたします。

■環境情報学専攻
■東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻
教学課　yckyoumu@tcu.ac.jp
■都市生活学専攻
教学課　sckyoumu@tcu.ac.jp

10．その他

出願時に健康診断書の提出は必要ありませんが、身体の障害等により、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする場合は、出願前に教学課までその旨を連絡して下さい。

合格発表・入学手続き 等

全専攻共通

１．合格発表

	２月実施入試	５月実施入試
合格発表	２０２４年３月１日（金）１０：００	２０２４年５月２０日（月）１０：００
手続期限	２０２４年３月２９日（金）消印有効	２０２４年６月７日（金）消印有効※

学内に合格者の受験番号を掲示するとともに、本人に合格通知書および入学手続書類を速達で郵送します。
※「JICA 2024 年秋受入長期研修プログラム」による志願者については、合格発表及び手続期限を JICA 経由で別途指示する。

２．入学手続き

(1) 合格者は、本学入学のためには、期限内に入学手続書類を提出し、授業料を納入しなければなりません。
(2) 入学手続の期限は上表の通りですが、やむを得ぬ理由がある場合、入学金を除く納入金については、最長 2024 年 8 月 16 日(金)まで納入延期を認めます。(5 月実施入試のみ対象)
(3) 入学手続書類の提出と授業料の納入はすべて郵送・振込によるものとし、詳細は合格通知書に同封する「大学院入学手続要項」を参照してください。
(4) 納入金について（2024 年度入学者納入金）

環境情報学専攻 ／ 都市生活学専攻

区分 納入金	入学年度（後期分）	入学の翌年度以降	修了予定年度 （前期分）
入　学　金	240,000	－	－
授　業　料	485,000	970,000 分納希望の場合 前期　485,000 後期　485,000	485,000
合　　計	725,000	970,000	485,000

東京都市大学・エディスコーワン大学国際連携環境融合科学専攻

区分 納入金	入学年度（後期分）	入学の翌年度以降	修了予定年度 （前期分）
入　学　金	240,000	－	－
授　業　料	550,000	1,100,000 分納希望の場合 前期　550,000 後期　550,000	550,000
合　　計	790,000	1,100,000	550,000

①授業料の分納を希望する場合、入学手続き時と翌年の 10 月 20 日までを期限として分納することができます。詳細は当該年度の初めに改めて通知します。

②本学からの進学者（2024 年 9 月本学卒業見込者または修了見込者）は、「東京都市大学大学院研究科奨学規程」に基づき入学金が免除されます。また授業料についても、同規定の適用により免除される場合があります。

③一旦納入した入学金及び授業料は、理由のいかんに関わらず返還しませんので充分ご注意ください。

④私費外国人留学生（在留資格「留学」を有する者、または取得見込みの者）に対し、特別な経済的支援として減免措置の実施を予定しております。減免措置を希望する場合は、入学後、所定の手続きを行ってください。

なお、初年度の減免措置は後期分の授業料について行います。減免措置を希望する場合であっても上記の分納納入の金額にて入学手続きを行ってください。

⑤海外協定校特別推薦入試により入学した者のうち、一定の条件を満たす者に対し、経済的負担を軽減し、優秀な人材の育成を目的として授業料減免措置を実施する場合があります。減免措置を希望する場合は、入学後、所定の手続きを行ってください。なお、初年度の減免措置は後期分の授業料にて行います。減免措置を希望する場合であっても上記の分割納入の金額にて入学手続きを行ってください。

(5)私費外国人留学生（在留資格「留学」を有する者、または取得見込みの者）に対し、特別な経済的支援として減免措置の実施を予定しております。減免措置を希望する場合は入学後、所定の手続きを行ってください。
なお、初年度の減免措置は入学した後の減免審議確定後に行います。
(6)社会人選抜により入学した者については、博士前期課程で 50%、博士後期課程で 90%の授業料が減免される場合があります。減免措置を希望する場合は出願時にD票あるいはE票の所定の欄にその旨を記載してください。
(7)海外協定校特別推薦入試により入学した者のうち一定の条件を満たす者に対し、経済的負担を軽減し、優秀な人材の育成を目的として授業料減免措置を実施する場合があります。減免措置を希望する場合は入学後、所定の手続きを行ってください。なお、初年度の減免措置は入学した後の減免審議確定後に行います。
(8) 国外からの手続きについては、別の指示をする場合があります。
(9) 入学辞退について
入学手続完了後にやむを得ぬ理由により入学辞退を希望し、原則として 2024 年 9 月 17 日(火)17：00 までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く納入金は返還します。詳細は合格通知の際に同封する「大学院入学手続要項」を参照して下さい。

３．受験生の個人情報の取扱いについて

手続書類を通じて収集した住所・氏名等の個人情報は、大学からの連絡・資料等の発送や統計的集計に利用いたします。それらの業務を超えた利用はありません。また、個人情報は、厳重に管理いたします。

奨学金制度

全専攻共通

■本学からの進学者（2024 年 9 月本学卒業見込者及び修了見込者）の入学金は全員免除されます。
■博士後期課程及び博士前期課程については、学力・人物ともに優秀な学生に学費の免除を行う奨学制度があります（下表①参照）。この奨学生の選考に当たっては、本学からの進学者が選考対象となります。
他に下表②～⑤のような授業料減免、給費奨学制度があります。
■貸与奨学金の代表例として、日本学生支援機構奨学金があり、無利子貸与（第一種奨学金）と有利子貸与（第二種奨学金）の二種類があります。また、第一種奨学金の貸与者を対象とした「特に優れた業績による返還免除」制度があります（下表⑤参照）。

①大学院奨学生（本学独自）

課　程	学　年	学費免除額	備　　考
博士後期	Ｄ５	全額免除 または半額免除	内部進学者および東京理工系４大学特別推薦入学者のみ。
	Ｄ４		
	Ｄ３		
博士前期	Ｍ２		
	Ｍ１		

②社会人選抜入学者授業料減免（本学独自）

課　程	学　年	学費免除額	備　　考
博士後期	Ｄ５	授業料年額の 90%	社会人選抜入学者且つ減免希望者のみ。
	Ｄ４		
	Ｄ３		
博士前期	Ｍ２	授業料年額の 50%	
	Ｍ１		

③私費外国人留学生授業料減免（本学独自）

対　　象	学費免除額	備　　考
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者 （イ）協定大学在学時の最終 GPA 値が 3.0 以上の者 （ウ）本学大学院に在籍する者	授業料年額の 75%	学内国際委員会が選考し学長が決定する。
次の全てを満たす者 （ア）本学と交流協定を締結している海外大学を卒業した者 （イ）協定大学在学時の最終 GPA 値が 2.5 以上 3.0 未満の者 （ウ）本学大学院に在籍する者	授業料年額の 50%	
学部又は大学院に在籍する者	授業料年額の 30%	

④各種奨学生（以下は給費奨学金実績の一部）

団体名称	支給月額/年額	条　　件
(一財)守谷育英会	120,000 円 (月額)	東京都内の大学に在学また東京都内に居住で学業・人物とも優秀であって、学資の支弁が困難な者
(公財)ロータリー米山記念奨学会	140,000 円 (月額)	学業優秀の他、異文化理解、コミュニケーション能力に対する姿勢や関心を持ち、心身ともに留学生活に耐えうる健全な者

⑤日本学生支援機構（特に優れた業績による返還免除）

課　程	学　年	認　定	備　　考
博士後期	Ｄ５	全額免除 または 半額免除	大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績を挙げた人として本機構が認定した場合には、貸与終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度です。
博士前期	Ｍ２		

（入学後のプログラム紹介）

タマサート大学との博士後期課程ダブル・ディグリープログラムについて

以下の通り、東京都市大学の博士後期課程とタマサート大学の博士後期課程のダブルディグリープログラム参加者を募集します。※対象は博士後期課程志願者となります。

１．プログラム名称

東京都市大学とタマサート大学との博士後期課程ダブル・ディグリープログラム

２．ダブル・ディグリープログラムの概要

本プログラムは、東京都市大学大学院（TCU）とタマサート大学（タイ王国）シリントーン国際工学院（SIIT）で２つの学位が取得できるプログラムです。参加学生の方は、双方の博士後期課程の学生として在籍し、双方の指導教員の指導を受け、それぞれの博士の学位の取得を目指します。

取得できる学位

大学	学位
東京都市大学	博士（工学）
	博士（理学）
	博士（環境情報学）
	博士（都市生活学）
	博士（学術）
タマサート大学	博士（工学技術）

３．標準的スケジュール

本プログラムの参加学生の方は、修学の途中で日本－タイのキャンパスの移動を行います。双方の課程の修了に要する年数は、4 年間です。入学前後から終了までの標準的なスケジュールは以下の通りです。

スケジュール	滞在場所
2024 年 2 月	入学試験（TCU）　日本
2024 年 6 月	入学試験（SIIT）
2024 年 8 月	入学（SIIT）
2024 年 9 月	入学（TCU）
2025 年 9 月	SIIT へ移動　タイ
2027 年 9 月	TCU へ移動　日本
2028 年 4 月	学位論文等の提出（TCU）
2028 年 8 月	学位論文等の提出（SIIT）
2028 年 9 月	学位授与（SIIT）
2028 年 9 月	学位授与（TCU）

タマサート大学との博士後期課程ダブル・ディグリープログラムについて

４．納付金

東京都市大学大学院博士前期課程を修了した学生は、東京都市大学へ授業料（4 年間）等を納付する必要がありますが、タマサート大学への授業料等は不徴収と同等の扱いとなります。

タマサート大学大学院博士前期課程を修了した学生は、タマサート大学へ授業料（4 年間）等を納付する必要がありますが、東京都市大学への授業料等は不徴収と同等の扱いとなります。

５．募集人員

若干名

６．注意事項

１．本プログラムを志望される方は、志望する研究科に応じて、現在の指導教員と研究科長に必ず事前にご相談ください。相談するためには、博士前期課程の GPA が 3.0 以上であることが条件となります。

総合理工学研究科　田口　亮　研究科長　ataguchi@tcu.ac.jp

２．本プログラムで使用する言語は、日本語または英語です。

３．本プログラムを志願する方は、一般試験または推薦試験を受験してください。

４．本プログラムに参加するためには、両大学の入学試験に合格する必要があります。

５．本プログラムを志願する方は、出願前に学修計画及び研究計画などを定める必要があります。詳細は事前の相談後にお知らせします。

６．本プログラムは、東京都市大学博士前期課程を修了した方、またはタマサート大学博士前期課程を修了した方のみ参加が可能です。

東京都市大学

大学教学部門 教学部 教学課（横浜キャンパス）

〒224-8551　神奈川県横浜市都筑区牛久保西３－３－１

ＴＥＬ：０４５－９１０－０１０４

Ｍａｉｌ：yckyoumu@tcu.ac.jp

大学教学部門 教学部 教学課（世田谷キャンパス）

〒158-8586　東京都世田谷区玉堤１－２８－１

ＴＥＬ：０３－５７０７－０１０４

Ｍａｉｌ：sckyoumu@tcu.ac.jp